

課題名	航空実播による山腹緑化		
指示・自主区分	署自主	開発期間	S.62~H.2
		担当	沼山係長 小笠原元
目	早口沢流域に点在している小規模の山腹崩壊地を復旧するためヘリコプターによる緑化種子の散布を施工した。散布後の植生を調査し、今後の山腹崩壊地復旧工事の施工に役立てたい。		
標			
結	プロット(5m×5m)調査の結果は草本類の生育は良好であるが木本類の生育は良好ではない。これは草本類に被圧されているためと思われるので草本類の種子量を減少する。	技術開発経費内訳	
果	侵入している植生はタニウツギ、ヤナギカヤで旺盛に生育している。追肥によって草本類が繁茂して木本類や侵入植物を被圧することのないよう注意を要する。	<人工> 千円 物件費 役務費 人件費 基職 その他 合計	
開発経過と調査内容			
62年度 実播工	1.59HA	6,500	種
63 "	1.70 "	5,750	"
元 "	1.20 " 追肥 1.59HA	6,283	"
乙 "	1.10 " 1.70 "	5,459	"
計	5.59 "	3,29 "	23,992 "
散布した種子は下記のとおり			
名	種別	1.0 ha当り 数量	1.0 m <sup>2</sup> 当り 生立期待本数
ケンタッキー-31F	種子	50*	1,814*
レッド トップ	"	2	1,584
ケンタッキー-ブルーグラス	"	10	1,571
ホワイトクローバー	"	15	1,944
ヨモギ	"	7	1,952
メドハギ	"	5	1,404
イタチハギ	"	20	225
ヒメヤシャブシ	"	40	756
計		149	11,250

複合肥料	N 10・P 18・K 14	1,000
有機質	千代田有機	1,000
養生剤	スタビラ	800
土壌改良剤	パーミエイトII	1,200
粘着剤	C・M・C	40
着色剤	C・G	40
清水		11,771
計		15,851
合計		16,000

62年度散布した箇所について調査する結果は次表のとおり

植生状況調査

調査番号	タニウツギ (侵入)			ヤナギ (侵入)			ヤシャブシ (実播)			植生の状況	備考
	根際径	樹高	本数	根際径	樹高	本数	根際径	樹高	本数		
1	cm 0.7~1.3 1.0	m 0.6~1.2 1.0	12							クローバー ヨモギ ケンタッキー-31F	下段は 平均値
2	cm 0.6~1.2 0.7	m 0.5~1.2 1.0	42				cm 0.8~1.4 1.2	m 0.2~0.3 0.26	本 12	ヨモギ クローバー ケンタッキー-31F カヤ類	カヤは 侵入
3	cm 0.6~2.4 1.0	m 0.6~1.5 1.2	71	cm 1.5~3.2 3.0	m 1.4~2.5 1.4	本 3				ヨモギ クローバー ケンタッキー-31F カヤ類	〃

タニウツギ、ヤナギ、カヤの侵入については種子吹付により環境が整備され種子の着床条件が良好になったためと思われる。

評価及び普及指導

早口沢流域は散布前、小崩壊箇所が随所にみられたが、現在は種子の散布により植生の生育状況、繁茂の度合いも良好で、侵入した草本類も早期に全面を緑化するという目的は達成された。

今後の施工については木本の生育を考慮して草本の種子量を減少する必要がある。

以上の調査結果から一定の成果があったと考察されることから当該技術開発の完了報告とする。